

(3)「道徳コーナー」の設置、「道徳だより」の発行

各学級に「道徳コーナー」を設置し、道徳だよりや道徳科の授業における生徒のコメントなどを掲示した。道徳だよりには、道徳的諸価値の解説や、授業の様子、生徒の記述の様子等を記載した。家庭にも配布し、授業の様子を伝える一助とした。

〈先生方の声〉

- 他学級の授業の様子がわかり、とても参考になった。自分の学級でも取り入れてみたい内容が紹介されていた。

〈保護者の声〉

- 「道徳だより」に載っていた内容について、家庭でも話し合いました。学校での授業の様子がわかってよかったです。



(4)「考え、議論する道徳」の充実に向けた工夫

- ①自分の言語化されていない思いや考えを言語化することに慣れるために、言語化ノートを用意し、繰り返し活用した。長文で表現するだけでなく、イメージマップを作成したり、箇条書きで書いたりするなど、生徒の実情に応じて様々な書き方が見られるが、自分の思いを言葉で表現することへの抵抗は確実に小さくなってきている。



〈「言語化ノート」のルール〉

言語化しよう！《言語化ノート》
表現力を伸ばそう！！
頭の中に浮かんだ気持ちや考えを「言葉にする」＝「言語化する」練習をしよう！

ルール

- とにかくたくさん書く！
- 火・木曜日の朝読の時間に書く
- 3分間書く！（残り時間は続きか読書）
- 専用のノートに文章を書く！
- ていねいに書く必要はない！
- 書く内容はどんなことでもいい！
- ただし、個人名の誹謗中傷は書かない。
- 他人のノートは勝手に見ない。

☆なぜだろう？と自分に質問してみよう

- ②ディスカッション型の学習活動を活性化させるために、「話し合いのルール」「発表の時の話し方」を作成し、道徳科の授業時に黒板に掲示した。意見を一方通行で伝えるだけでなく、他者の意見を受けて対話する様子が見られるようになった。



発表の時の話し方

- ・「私は、（～だから）～だと思います。」
- ・同じ意見の場合
「私は～と思いますが、
班の中では～という意見が出ました。」

・トリオでの発表が終わった後、出ていない意見があった場合は、積極的に発表しよう。

道徳の話し合いのルール

- ① 全員で話し合いに参加する。
- ② 他の人の意見も尊重する。
- ③ 聞いていることを態度で示す。
- ④ 話し手は、相手が聞こえやすい声の大きさとスピードで話す。
- ⑤ 脱線OK。